

ここが聞きたい！ 一般質問

(一般質問の文章は、質問者の責任で作成しています)

学校プール

プール授業の方向性は

授業の実施方法も含め検討

問 学習指導要領における水泳授業の位置づけは、**教育長** 小学校低学年では「水遊び」として水に親しむことからスタートしている。中学年以降は、水泳運動として泳法の習得を通じて、体力を養うとともに、水泳の心得を学び、健康・安全に配慮するよう指導することが定められている。

問 現在の検討課題は。**教育長** プール施設の老朽化等により、今後、施設維持に多大なコストがかかるが見込まれる。**問** 民間委託や他自治体との連携も含め協議を始めるべきでは。**教育長** 当町の場合、学校プール以外に授業を行う施設がないため、選択肢としては、町内の他校のプールを共同で利用するか、隣接自治体の民間・公営プールを利用することが考えられる。プール授業は自らの命を守るという目的もあるので、関係者の意見を踏まえ慎重



柁津 明子 議員



村上小学校プール

問 判断する必要がある。**問** 今後のプール授業の方向性は。**教育長** 現在のプールが使用できるうちに、方針を定めていく。施設の長寿命化と並行して、先行事例を参考に、授業の実施方法なども含めて検討していく。

質問項目

柁津 明子 議員 10 ページ

- ① 学校プールについて
- ② 女性を守るために

中村 忠靖 議員 11 ページ

- ① 防災対応について
- ② 空き家対策について

朝倉 国勝 議員 11 ページ

- ① 有害鳥獣対策について
- ② 带状疱疹対策について

大日向 進也 議員 12 ページ

- ① ごみの減量化に向けて
- ② 公共施設管理予約について

塚田 舞 議員 12 ページ

- ① 認知症の早期発見と包括的支援について
- ② 子ども・子育て支援について

宮入 健誠 議員 13 ページ

- ① 新複合施設について
- ② ごみの資源化について

大森 茂彦 議員 13 ページ

- ① 公益通報者保護の取り組みは
- ② 今こそ平和への取り組みを
- ③ 子育て支援
- ④ 高齢者の補聴器購入助成を

玉川 清史 議員 14 ページ

- ① 町道整備について
- ② 国土調査について
- ③ 町有地の貸出しについて
- ④ マイナンバーカードについて

星 哲夫 議員 14 ページ

- ① 児童数減少と教員の働き方改革について
- ② 自治区の防災対策について

水出 康成 議員 15 ページ

- ① 移住定住施策について
- ② 警戒情報について

防災訓練

新たな課題は

検証を現在すすめている



中村 忠靖 議員

問 今回実施の防災訓練で、新たな課題は。

町長 今年度実施した防災訓練では、これまで台風による大雨・浸水災害を想定した総合防災訓練が町内全域で実施されたことから、新たに地震災害を想定した防災訓練とし、8月25日に実施した。課題などの検証は、現在すすめている。

今回初めて実施した「ペット同行避難」では、長野県動物愛護会の皆様に協力をいただき「飼い主として準備すること」や「被災した時の過ごし



空き家対策について

問 今後、どのような取り組みを行っていくのか。

住民環境課長 今後の空き家対策の取組みは、引き続き「長野県空き家対策支援専門家派遣事業」を活用し、「空き家対策住民啓発講座・相談会」を開催する。

空き家の利活用の促進として、固定資産税納税通知書にチラシを同封し、「空き家等の適切な管理」と「空き家バンク制度」の周知・利活用促進を図っていく。



朝倉 国勝 議員

ワクチン助成の実現を

早期に実現していきたい

带状疱疹

問 町内でも50才以降の人に带状疱疹の発症が多くみられ、神経痛のような痛み、しびれ、かゆみ等の症状があり、長期にわたる治療が必要で、場合によっては重症化する。

発症を予防するため、ワクチン接種が推奨されている。他の市町村

たい じょう ほう しん

带状疱疹

子どものみずぼうそう（水痘）の予防に効果がある水痘ワクチンは、50歳以上の方の带状疱疹予防にも使用されています。

带状疱疹はワクチンで予防できる感染症です。

？ 带状疱疹（たいじょうほうしん）

带状疱疹は、「みずぼうそう（水痘）」にかかったことのある人になる病気で、水ぶくれと痛みを伴う赤い発疹が身体に帯状に出て、高齢者の日常生活に支障をきたします。

<症状>

- ・チクチク、ビリビリ、ズキズキとした強い痛み
- ・発疹が治った後、長い間（3～6か月以上）痛みが続く

ワクチン接種で発症予防

有害鳥獣対策について

問 最近、有害鳥獣による被害が拡大しているが、個体の大幅削減に向けた今後の考えは。

商工農林課長 有害鳥獣への対応は、捕獲対策・防除対策・環境整備を組み合わせた総合的な対策を実施してきたが、有害鳥獣の大幅削減には至っていない。現状の状況を分析し、新しい視点で個体の大幅削減対策を計画展開したい。

でも助成制度を実施しているところが増加しており、当町においても助成制度の実現を要望したいが町の考えは。

町長 50才以降に多く発症し、80才までに3人に1人がかかるというわれ、治療が遅れると重症化し、治療後も長期間痛みが残り、带状疱疹後神経痛になる場合もある。町としても発症リスクの低減、重症化の予防をはかるために、助成制度をできるだけ早期に実現できるように進めたい。

ごみ減量化

町の総排出量は

県内77市町村中54番目



大日向 進也 議員

問 令和4年6月にちくま環境エネルギーセンターへ可燃物処理の移行が行われてから、町の可

燃ごみの総排出量は。住民環境課長 家庭系、事業系合わせて令和4年度は施設移行後の6月より2697t、5年度は3107t、6年度7月までで1033tである。

問 坂城町の可燃ごみ排出量は県内で何番目となるか。

町長 令和4年度の実績によると、県内77市町村中54番目である。
このような現状を踏まえ、リデュース、リユース、リサイクルの推進を引き続き図るとともに、可燃ごみの中で占める割合が多い生ごみについては、家庭でたい肥化を行うため、各地区と連携をし、関係団体と協力を図りながら減量化に努めていく。

また、ごみの減量化とともに資源を有効に循環させる社会の実現を進めていく。

問 令和4年4月に「プラスチックリサイクル法」が改正となった。町における収集方法に変化はあるか。

町長 今後「葛尾組合リサイクルセンター」の建設を予定しており、そのタイミングに合わせて現在の可燃物と同様の専用の収集袋の導入を検討している。



生ごみを資源に
(ダンボールコンポスト作り講座)

幼・保・小の連携は

切れ目のない支援を目指す

子育て支援



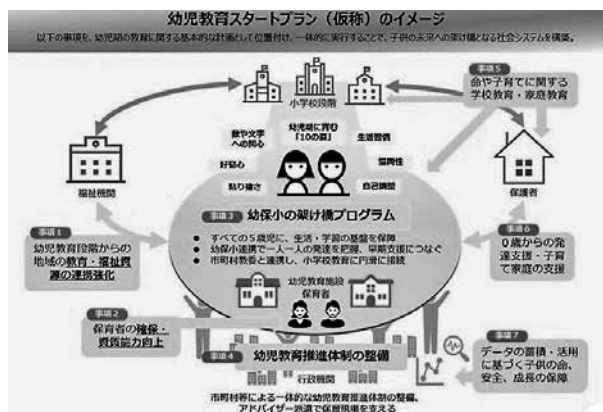
塚田 舞 議員

問 幼・保・小の連携の働きかけの現状は。

子ども支援室長 「坂城の子は坂城で育てる」をスローガンに、子どもの成長に合わせた切れ目のない一貫した子育て支援を進めている。特に、幼稚園や保育園から小学校へのスムーズな移行は

特に重要な節目と据え、年中児対象の発達相談事業や、年長児対象の発達フォロー事業を実施し、子どもたちの個性や特徴に合わせて支援している。また、就学支援委員会では、必要に応じて学校見学を行い、関係者と連携しながら小学校への就学に向け、より丁寧な支援を行っている。さらに、円滑な就学に向け、各園への訪問指導や循環訪問を実施している。

子ども支援室長 家庭の多様化が進むなか、子育ての不安や悩みを解消し、社会的孤立を防ぐことが求められている。町では、妊娠・周産期から青少年期までの切れ目のない支援を提供するため、保健、福祉、教育、医療などの関係機関が連携して、包括的な相談支援を行っている。また、不妊・不育症治療費の助成や、保育料、副食費、学校給食費の無償化など、経済的負担の軽減にも努めている。



幼児教育スタートプラン（仮称）イメージ

新複合施設

今年度の事業計画は

基本設計を取りまとめる



宮入 健誠 議員

問 新複合施設建設に向けた建設委員会や住民ワークショップの開催計画の考えは。

町長 今年度、基本設計を進めていくうえでは、「基本構想・基本計画」をより具現化するため、建設委員会をはじめ、施設利用者など多くの町民

の皆様と施設イメージを視覚的に共有する中で、ワークショップの開催などを通じて、意見の集約を図っていききたい。

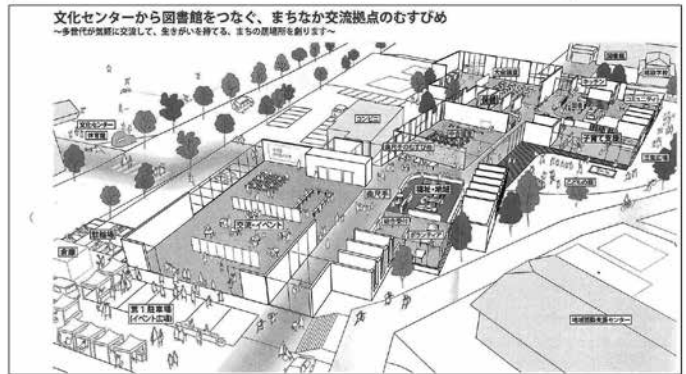
町としては、10月から11月にかけてワークショップでの意見聴取を進めながら、12月末を目途に開催を予定している建設委員会において、図面や模型による視覚的な要素を加えながら、基本設計案として施設イメージを共有していきたい。

また、基本設計案については、来年1月から2月にかけて、再度ワークショップを開催し、町民の皆様と施設イメージを再確認する中で案を完成形に近づけ、来年3月に予定する建設委員会において、基本設計の最終案を取りまとめていきたい。

なお、基本設計の業務完了後には、町民の理解を得るために、説明会を予定している。

【抜粋】最優秀提案者 プロポーザル資料

【※注意】この提案内容はあくまで最優秀提案者となった設計業者の提案資料であり、今後の建設委員会での協議やワーキンググループでの検討結果によって、変更になる可能性がありますので、ご了承ください。



新複合施設 イメージ案

非核平和の町宣言 昭和60年9月27日議決宣言

野に 花が咲き
山に 鳥が鳴き
まちには 緑がいっぱい
ここには 私たちの幸せがある
いま地球をおおう核兵器は
愛するすべてのものを滅亡させてしまう
ヒロシマ ナガサキを
くり返してはならない
いまこそ 私たちは
核兵器の根絶を願う
私たちの町にいかなる核兵器の
配備も 飛来も 通過も 許さない
緑豊かなスポーツと福祉の
美しい 田園工業都市
平和で幸せなまちを実現するため
ここに坂城町を非核地域とし
非核 平和の町を宣言する



大森 茂彦 議員

問 この8月、町内の平和団体が図書館の協力を得て「小さな原爆写真展」を開催した。毎年7月に行われる「原水爆禁止国民平和大行進」の参加者に対し、町長は町の平和宣言を毎回紹介している。この素晴らしい

宣言文を役場に訪れた方にも読んでいただけるようパネルにして庁舎内に掲示できないか。来年は被爆80年になる。年間を通して「平和を考える」年度にするため、戦争体験者の聞き取りや講演会、広島市の平和

非核平和宣言

宣言文をパネルに

来庁者に見えるよう準備

祈念式典に子どもたちを派遣すること、原爆写真展や被爆者の描いた絵画の展示などを、町施設で展示計画できないか。

総務課長 宣言文の揭示は大きさや方法、場所等を検討していく。

教育長 来年度は終戦80年の節目であり、平和学習の実施や戦争体験者の聞き取り、平和学習施設への研修、写真展示等を来年度の事業計画の中で検討する。

高齢者の補聴器助成を

問 町は、補聴器購入助成制度を求める署名851筆にどう応えるか。

町長 これから策定作業に着手し、来年度以降の早期導入に向けた準備を整えていく。

紙の保険証

本年12月2日以降は

資格確認書が届く



玉川 清史 議員

度は76・87%である。

問 国保加入者のマイナ保険証紐付け率及び利用率は。

福祉健康課長 6年6月末時点の紐付け率は57・96%で、医療機関等窓口での利用率は11・45%である。

問 マイナ保険証がない人に届く資格確認書の説明を。

福祉健康課長 マイナバーカードがない、またはカードへの保険証の利用登録をしていない方には、被保険者資格情報を掲載した資格確認書を申請不要で交付する。

資格確認書の有効期限が切れることがないよう、現行の保険証と同様に加入者へ送付し、この資格確認書を医療機関等の窓口で提示すること、これまでも同じ窓口負担で医療を受けることができる。

E V充電設備設置について

問 充電目的でない車両が駐車して、充電用の空きがない場合の対応は。

企画政策課長 電気自動車優先という表示を考えているが、E V駐車場に空きがなく、他に駐車スペースがある場合には、施設管理者が車両の移動を促すなどの対応をする。



文化センターの充電器

児童数減少

小学校統合の可能性は

現在の3小学校を維持



星 哲夫 議員

問 小学校児童数の過去5年間の推移は。

町長 3校全体で令和元年度が701人、2年度が662人、3年度が628人、4年度が621人、5年度が599人、6年度は566人で、5年前と比較すると児童数は2割減少している。昭和54年度1775人をピークに児童数は減少に転じ、現在はピーク時の3分の1になっている。

問 児童数の減少が続くなかで、将来3小学校の統合に対する町の見解は。

町長 一人ひとりの児童の個性や能力に合わせ、きめ細かな指導が可能になる少人数ならではのメリットを活かした教育を推進し、現在の3小学校を維持していきたい。

問 教員の働き方改革を進めるため、業務負担軽減などの取組みは。

町長 クラス数の減少は学校全体の教員数の減少につながり、行事の準備や引率等、児童数と関係なく必要となる学校業務についての教員1人にかかる負担は、相対的に増えている。

町では、負担軽減への取組として、各学校に継続して支援員を配置し、多様な児童生徒への支援を行っている。また、教育のICT化への対応と、業務効率化のため、外部委託や各学校にICT支援員を派遣している。



関係人口

増加への考えは

さらにPRし創出を目指す



水出 康成 議員

にしながら、様々な媒体を通じて町外に向けた地域の魅力を発信・PRし、関係人口のさらなる創出を年頭に、地域の活性や持続可能な社会の構築を目指していく。

熱中症警戒アラート

問 高温環境が増加している。小中学校体育館に冷房設備の早期設置への考えは。

答 教育文化課長 当面、授業時間のやりくりなどで対応する。設置に関しては、国の支援策の活用を研究していく。

問 関係人口に関する取り組みの状況と増加への考えは。

答 企画政策課長 関係人口に関する事業として、ふるさと納税が上げられる。そのほか、新たな人口流入増加につなげるため、ばら祭りや葡萄酒祭り、169系電車関連イベントなど、町に関心を持つってもらう事業を行っている。

今後、第2期坂城町まち・しごと・創生総合戦略を踏まえ、各種事業を展開するとともに、人のつながりや思いを大切に



荒廃地転用したブドウ栽培と
ワイン愛好家の摘果ボランティア作業

議 会 日 誌 (主なもの)

7月
3・9・16日 議会報編集委員会
10～11日 上田地域広域連合議会行政視察
12日 町村議会議員研修会
16日 県道上室賀坂城停車場線改良促進期成同盟会総会
18日 長野広域連合議会視察
19・23・24・25・30・31日 決算審査
22日 議会全員協議会/社会文教常任委員会
25日 町例月現金出納検査/国道18号坂城更埴バイパス現地事業説明会/上田地域広域連合管内施設視察
26日 総務産業常任委員会
30日 社会文教常任委員会閉会中の調査

8月
1日 国道バイパス・県道整備促進期成同盟会総会
5日 総務産業常任委員会閉会中の調査
6日 新国道上田篠ノ井間建設促進期成同盟会総会
7日 新国道上田篠ノ井間建設促進期成同盟会要望活動
19日 新日本婦人の会請願/長野県医療労働組合連合会、長野県社会保障推進協議会陳情

8月
20日 議会全員協議会/坂城駅周辺活性化特別委員会/六ヶ郷用水組合議会臨時会
21日 非核・平和・憲法を守る上小の会、長野県憲法擁護連合陳情/千曲坂城消防組合議会臨時会
26日 議会運営委員会
27日 町例月現金出納検査/葛尾組合議会臨時会
29日 決算審査監査報告受領

9月
2日～20日 9月議会定例会
4日 総務産業常任委員会
10日 議会運営委員会
18・26日 議会報編集委員会
20日 議会運営委員会/議会全員協議会
25日 全国町村議会広報研修会
26日 町例月現金出納検査
27日 上田地域広域連合議会代表者会
30日 長和町議会視察

表紙



当初より1日遅れて、9月23日(月)に南条保育園の運動会が開催されました。気持ちの良い天気の中、子ども達は楽しく一生懸命に走ったり、踊ったりしていたことです。園長先生からは『青い空の下、運動会が開催されました。今年は「輝け！パワフルなかよし運動会！！」をテーマに掲げ、各年齢とも趣向を凝らした発表ができました。たくさんの観客の応援の中、パワフルで笑顔いっぱいの楽しい運動会となりました。』というコメントを頂きました。(写真：中嶋 登、文：山城 峻一)